

2025年4月30日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

金融機関向けクラウドサービス「C-NOAH」に AI ガバナンスを強化する機能を追加 ハルシネーションの抑制で AI チャットボットの信頼性を向上

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、本社:東京都港区、略称:CTC)は、金融機関向けのアプリケーション、システム基盤、AI サービス群を提供する「C-NOAH(シー・ノア)」に、AI ガバナンスを強化する機能を追加しました。Dynamo AI(本社:米カリフォルニア州、CEO:Vaikkunth Mugunthan)の AI 監査ツール「Dynamo Guard」を活用して、AI が誤った情報を生成する「ハルシネーション(幻覚)」を抑制し、C-NOAH の AI チャットボットの信頼性の向上につなげます。

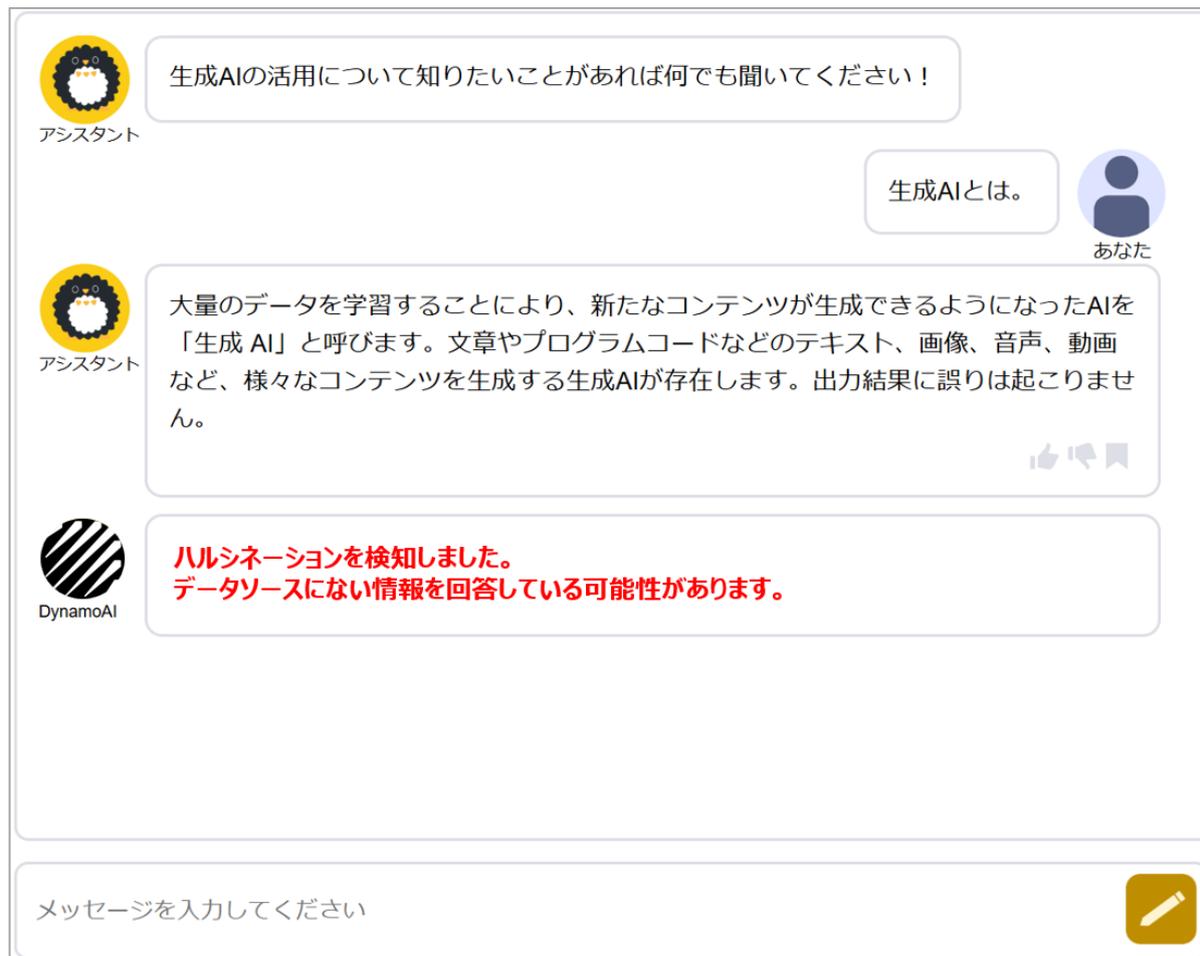
近年、業務の高度化や効率化を目的に、生成 AI を活用する企業が増えている中、事実に基づかない誤った情報を AI が生成するハルシネーションと呼ばれる現象が課題となっています。生成 AI は、不適切なプロンプトの内容や、質・量が不十分な学習データを要因としてハルシネーションが発生することがあり、企業は、プロンプト作成の教育や学習データの定期的な見直し、業務で利用する範囲を制限するなどの対策を講じています。

今般 CTC は、Dynamo Guard を活用して、C-NOAH の生成 AI チャットボットにおけるハルシネーションを抑制する機能を追加しました。金融機関においては、誤った情報の提供が、顧客や行員の不適切な投資判断や、顧客情報の漏洩などにつながる可能性があるため、AI チャットボットの回答精度を高めることにより、インターネットバンキングや FAQ システムにおける、お問い合わせ対応の精度と信頼性の向上につなげます。

Dynamo Guard は、入力したプロンプトと企業のコンプライアンスポリシーとの整合性をリアルタイムで検証する AI 監査ツールです。コンプライアンス上、不適切と判断される内容が入力された場合、当該プロンプトを AI の学習データとして使用せず、回答の生成も自動的に停止します。また、生成した回答、公的機関や業界団体、企業の公式データなどの信頼性が高い情報と照合し、回答の正確性を数値化して評価します。評価結果が一定水準を下回った場合には、画面上にアラートを表示して利用者に注意を促します。

今後も CTC は、ハルシネーション抑制を含む AI ガバナンスの強化をはじめ、お客様の業務に合わせて C-NOAH のカスタマイズや新たなアプリケーションの開発を行いながら、生成 AI の信頼性向上と安全な活用を通じた、金融業界の業務の高度化、効率化を支援していきます。

<生成 AI チャットボットにおけるハルシネーションを抑制する機能のイメージ>



- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部
E-mail: press@ctc-g.co.jp